

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和4年3月20日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	人数が多いときは、机を移動するなどして、スペースを確保しており、適切で開放的な空間です。	衝立などで、遊びと学習のスペースをしっかりと分け、活動しやすいよう配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○	職員数は配置基準を満たしたうえで専門職も配置しています。	法令基準を満たした職員数で対応しています。日々の利用人数によって、人員の確保や配置を臨機応変に対応できるように努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされている	○	1～2時間おきの消毒・換気を徹底しており、毎日の清掃や汚れた場所の清掃も実施しています。	感染症予防のため定期的な窓の開閉、空気清浄機の使用で、換気に努めています。今後も清潔で快適な空間づくりの維持に努めてまいります。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○	月2回の会議をおこない、全職員が参画して、業務改善について討議しています。	今後も朝礼や日誌・個別支援会議で、療育や支援、その他業務について目標設定と改善について全職員で共通理解を図ってまいります。
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	初めての評価を実施し、更に送迎時の会話の中でご意見等をいただいた際には、ご意向を把握し会議で話し合い、改善を図るようにしています。	今後も保護者様のアンケートをもとにお褒めの言葉は職員のモチベーションの糧として、ご意見は真摯に受け止め、業務改善への課題としてより良い支援へと繋げていきたいと思っております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	評価の結果はCOMPASS 発達支援センターの公式Webサイトに公開致します。	今後も、毎年Web上で自己評価表の公開をおこなってまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	本社作成された研修動画等を用いた研修を実施しています。	今後も定期的に事業所内研修をおこない、職員の資質向上に努めます。コロナ収束後には外部研修についても積極的に参加してまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○	アセスメントを適切におこない、保護者様のご意向や児童のニーズと課題を分析し、支援計画を作成しています。	今後も児童の気持ちに寄り添い、保護者様のご意向に耳を傾けながら、支援計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	標準化されたアセスメントツールで児童の状況を確認しています。	今後も継続して標準化されたアセスメントツールの活用で児童の状況確認に努めます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	児発管が大まかな流れを作った後、職員がアイデアを出し合いながら、プログラムを立案しています。	今後も引き続き、職員間の情報交換や情報共有を心掛け、立案していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	固定化を避け、職員間で話し合い、季節の行事を取り入れ、児童一人ひとりに合ったプログラムの作成を心掛けています。	今後も職員間で意見を出し合い、児童に応じた立案していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	支援時間の変化に合わせて、必要な課題を細やかに設定し、単調にならないよう配慮しています。	今後も、長期休暇時の利用時間に際して、臨機応変なプログラムや療育内容を提供できるよう、努めてまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○	児童の特性に応じた個別活動と集団活動を適宜組み合わせた計画を作成しています。	今後も同様に、それぞれの活動内容を組み合わせ、支援計画の作成をおこなってまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	昼礼での全体的な確認に加え、職員個人間での確認を実施しています。	今後もミーティングを継続し、当日の流れ、支援内容などの確認をおこない情報共有に努めてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	送迎やシフトの時間差のため毎日ではありませんが、変化や気づいたことがある場合には必ず共有するようにしています。	今後も打ち合わせを継続し、どんな小さなことでも意見を出し合いながら、共通理解に努めてまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	日々、支援終了後に経過記録等を記入し、職員間で共有しています。	日々の療育内容や、児童の様子は必ず記録しております。その記録をもとに支援の改善を図り、職員間で情報交換をおこなっております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的にモニタリングをおこない、現状把握、計画の見直しを実施しています。	今後も同様に、モニタリング時期には職員全員で児童の状況・課題を確認して支援計画の見直しをおこなってまいります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○	児童の課題を整理し、ガイドラインの総則の基本活動から必要な項目を選択し、具体的な支援計画を作成し、支援をおこなっています。	今後もガイドラインを遵守し、支援内容が児童に見合っているか、保護者様の意向に寄り添っているかなどを判断し、適切な支援へと繋げていけるよう努めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童の状況を最も理解している職員や児発管が参画しています。	引き続き児発管を中心に積極的に会議に参画し、職員間で情報交換をおこなってまいります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	学校との情報共有を密に図り、事業所では昼礼などで職員間の情報共有を実施しています。	今後も学校との連携を深め、情報共有、連絡調整を図ってまいります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用している保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	就学前に利用していた各機関とは、電話や訪問で情報共有と相互理解に努めています。	今後も情報共有を継続し、児童の課題に寄り添いながら連携を深めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	現在までに該当する児童がいないため、情報提供に至っていません。	現在は該当する児童がおらず、実施に至っておりません。しかし今後、該当する児童があった場合には、関係連携機関と連携を図り、移行先で役立つ情報の提供を心がけていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	新型コロナ感染拡大のため参加機会を作れませんでした。	今後も積極的に連携を取り合い、コロナ収束後には研修や助言を受けるなどを心掛け、他事業所との繋がりを大切にしております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	新型コロナ感染拡大のため、交流を実施できていません。	現在はコロナ禍であり、事業所発信の交流の開催は大変難しいため、事態の収束には保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	新型コロナ感染拡大のため、参加は控えています。	今後の協議会が開催される場合は、積極的に参加し、児童への支援に繋げていけるよう努めてまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳や送迎時に活動の様子等をお伝えしています。	これからも送迎時、連絡帳などではできるだけその日の児童の様子をお伝えするよう心掛け、保護者様との共通理解に努めてまいります。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	送迎時や必要に応じて面談、訪問を実施し、ご相談に対するアドバイスをおこなっています。	今後も継続して保護者様に寄り添い、専門用語を避けたりわかりやすい言葉で助言や提案、アドバイスに努めてまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に、丁寧に説明させていただいています。	今後も保護者様に安心してご利用いただけるよう、丁寧に説明をおこなってまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	保護者様のご相談やお悩みは丁寧に傾聴し、職員間で話し合い、電話や面談での支援に努めています。	今後も継続して保護者様からのご相談やお悩みには丁寧な対応に努め、安心してご利用いただけるように配慮してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	現状では実施できていません。	保護者会等の開催については、コロナの収束後、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	職員間での話し合いを実施し、迅速な対応ができています。	今後も保護者様からお申し入れ、ご相談やお悩み等をお聞きし、適切に対応し、安心してご利用いただけるよう配慮してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	COMPASS だよりを季刊発行、毎月お便りを作成し、保護者様へ配布しています。このほか公式Webサイトでブログ、YouTubeで療育チャンネルを運営し、各種SNSでも情報発信しています。	今後も定期的な情報発信を継続してまいります。また保護者様に伝わりやすいように工夫した内容にしていくよう努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○	職員全員が十分注意し、施設した書庫で管理しています。	今後も継続して個人情報の取り扱いには、十分注意してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	児童とは個々の特性に合わせた伝達手段を選択し、わかりやすい声掛けのうえ、意思を確認しています。保護者様とは連絡帳、電話、面談などその時点で最適な方法を選択し、専門用語を避け、ご理解いただけるまでご説明しています。	今後も継続して児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達・共有に努めてまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	現状では実施できていません。	現在コロナ感染症予防のためおこなっていませんが、コロナ収束後は、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	保護者様にも見やすい場所に掲示しご覧いただき、職員にも周知徹底しています。	今後も継続してマニュアルに沿って訓練を実施し、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	避難訓練を定期的に行っています。	今後も継続して訓練をおこない、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止のために事業所内でできる研修を実施し、全職員一貫した対応に努めています。	コロナ収束後には社内・社外問わず、積極的に研修に参加してまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	法人の原則として身体拘束を禁止し利用契約書に記載しています。万一の場合、身体拘束をおこなうこととなる状況について、例外となる状況や身体拘束の程度についても、保護者様にわかりやすく詳細をご説明し、同意をいただいたうえで計画に記載します。	今後も原則として身体拘束をおこなわない基本姿勢を守り、やむを得ない場合は、あらかじめ文書により保護者様からの同意を得て個別支援計画に記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約時にお話を伺い、食べ物を提供する際は、その旨を、事前に保護者様に説明し、同意をいただいています。	今後も継続して保護者様からの情報にいたざき、全職員で共通理解に努めてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットが発生したときには、必ず記録し、記録を全職員で回覧し共有しています。	今後もヒヤリハット事例を作成し、全職員で改善点などを話し合い、再発の防止と共通理解に努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。